

## 『星の王子さま』 サン＝テグジュペリ著 内藤 潔訳 <岩波書店>

### あらすじ

砂漠に飛行機で不時着した「僕」が出会った男の子。それは、小さな自分の星を後にして、いくつもの星をめぐるから七番目の星・地球にたどり着いた王子さまだった。

### コメント

この本はとにかく考えさせられる台詞が多いです。『かんじんなことは、目に見えないんだよ』という言葉がとても印象的です。有名だけど読んだことがないという人も多いのではないのでしょうか？ぜひ手に取って見てください！



## 『思い出のマーニー』 ジョーン・ゲイル・ロビンソン著 松野正子訳 <岩波書店>

### あらすじ

心に傷を抱えた 12 歳の内気な少女は、夏の間、喘息の療養のために海辺の村に滞在する。その村の入り江には、「湿っ地屋敷」と呼ばれる長い間誰も住んでいない洋館があった。彼女はそこで金髪の少女・マーニーと出会う。

### コメント

有名なジブリの話なので小さいころに見たという人も多いと思います。愛とは何か、もう一度考えてみませんか。図書室で読めます！是非読みに来ててください！

